古布の回収

▶古布は家にたまりやすいので、整理をした際に、まとめて不燃物処理場へ持ち込みましょう。（ひもでしばるか、袋に入れて出してください。）必要としている人がいるので、簡単に燃えるごみとして捨てないようお願いします。

【古布の分類】
古着・雑巾・布など

他の人が着られるから捨てないで！

【リサイクルされると…】
着られる物は海外などの必要とされている地域に送り、着られない物は雑巾等にリサイクルされます。

どうしてごみを分別するの？

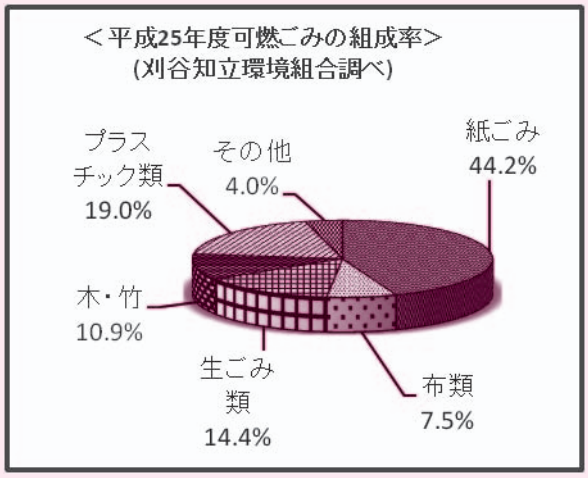
～ごみ分別の大切さ～

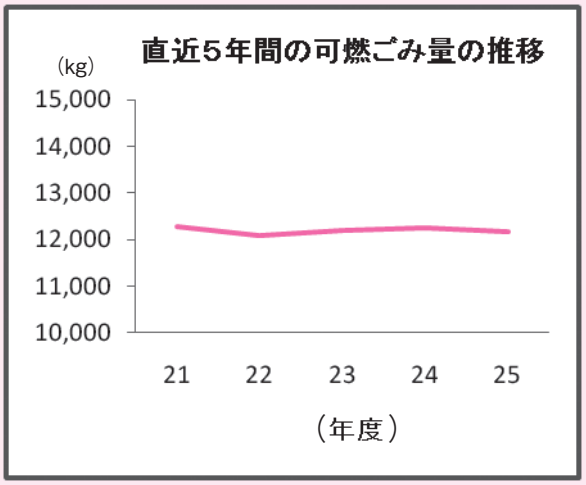
▶ごみを適正に分別することによって、ごみの性質に応じたそれぞれのリサイクルルートに乗せることができます。つまり、分別をすることは可燃ごみの減量化と資源リサイクルにつながるのです。

【現状と今後の対策】
▶右のグラフを見て分かるとおり、市内の可燃ごみ量は直近5年間横ばいであり、減少傾向にはありません。そこで、市では以下に重点をおき、可燃ごみの減量化を目指します。

《分別の徹底》
プラスチック製容器包装ごみや古紙、古布などは、燃えるごみに出さず、資源ごみに回しましょう。
※古紙は地域での回収に出す。（古紙・古布については、不燃物処理場でも回収しています。）

《生ごみ処理機器購入費の補助》
家庭から排出される生ごみを堆肥化する機器に補助金を交付しています。皆さんぜひご利用ください。





▶可燃ごみの減量化が進まない一方で、排出されたごみにはリサイクルできるものがたくさんあることが左のグラフから分かります。
▶紙ごみ、プラスチック類、布類、生ごみ類の半分でもリサイクルに回すことができれば、市の可燃ごみ量は現在の半分くらいになります。すると、現在可燃ごみの収集から処理までにかかっている年間約10億円（平成25年度実績）の費用も大幅に削減できる計算になります。

小さな行動が大きな税金の削減になるのね！

一人一人の改善が、知立市を大きく改善していきます！
ごみの適正な分別にご協力をお願いします。

※他のごみの分別方法や回収日時等は、折り込みの「知立市ごみカレンダー」を参考にしてください。

▶問合せ　環境課　ごみ減量係（☎95－0126）

ごみの適正な分別と排出のお願い

くりりんちゃん

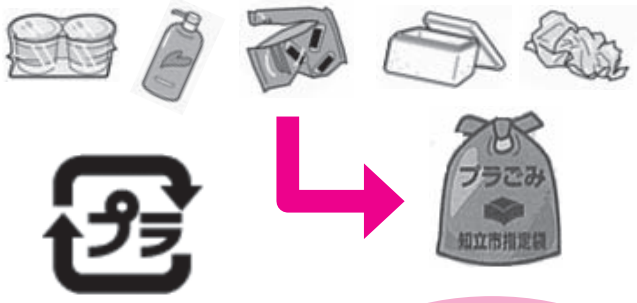
プラスチック製容器包装ごみの分別

▶プラスチック製容器包装ごみは、分別を間違えて紙ごみと同じように可燃ごみに入れてしまいやすいものです。可燃ごみに入れてしまうと処理費がかかり、燃えた後もごみとなりますが、市指定のプラスチック製容器包装ごみ袋（緑色）に入れて指定された場所に排出するとリサイクルされます。

【プラスチック製容器包装ごみの分類】

お菓子やパンなどの包装袋・シャンプーなどのプラスチック製ボトル・発泡スチロール類・惣菜や弁当の容器やトレイなど

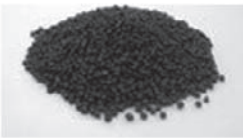
※プラマークのついているものは、全てプラスチック製容器包装ごみです。



（プラマーク）

【リサイクルされると…】

リサイクル工場でペレットというプラスチックの原料等にリサイクルされ、様々な製品に姿を変えます。また、燃料として再利用することもできるため、リサイクルの用途が広い廃棄物といえます。



（ペレット）

食用廃油の回収

▶食用廃油を家庭の台所から流すと、河川の水質汚濁の原因となります。市では家庭から出る使用済みの食用廃油を市立保育園などで回収し、米ぬかと混ぜてリサイクル肥料を作り配布しています。

▶コンポスト容器・ボカシ専用容器に使用するボカシ（生ごみの発酵を助け、堆肥化を促進する）や肥料を、食用廃油回収場所で無料で配布しています。（1世帯につき2袋まで）

▶回収場所は、折り込みの「知立市ごみの分け方」をご覧ください。

紙ごみの分別

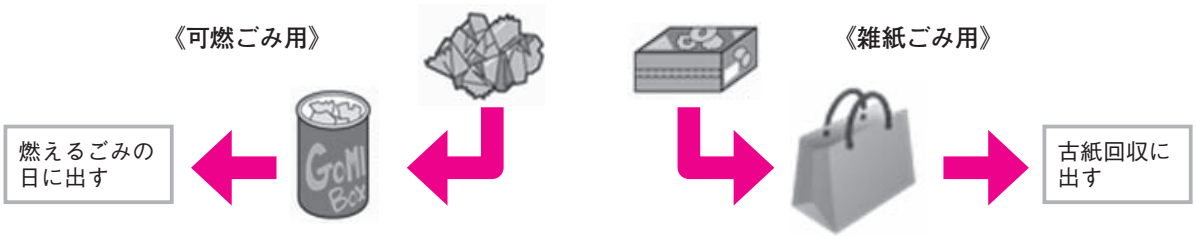
▶紙ごみは、可燃ごみの中にもっとも多く入っているものです。汚れている紙を除き、ほとんどの紙がリサイクル可能なため、分別のご協力をお願いします。

【紙ごみの分類】

紙パック・新聞紙・広告・ダンボール・週刊誌等の雑誌・OA用紙・紙袋・紙製のお菓子の箱などの雑紙類

【リサイクルされると…】

紙は作られてから6～7回リサイクルすることができます。回収された紙ごみは、溶かして紙の原料となります。

【紙ごみの推奨分別方法】

▶可燃ごみ用のごみ箱に加えて、雑紙ごみ用に紙袋などを用意します。紙袋がいっぱいになったら、各町内会等の古紙回収の日に出すか、不燃物処理場へ直接持ち込んでください。